

科目名称	家庭
授業コード	BN277
英語名称	Home Economics
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	富永 弥生
※記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	小学校における「家庭」の授業実践に必要な実践的な知識・技能と、家庭科に関連する背景的な知識を身に付ける。
科目に関連する実務経 験と授業への活用	この授業では、小学校教諭として児童と深くかかわってきた現場での実務経験を活かし、「家庭」を指導していく上での知識、技能等を解説するとともに、学習指導要領を踏まえ、教育現場に生かすことができるよう、アクティブラーニングを導入しながら実践的な教育を展開していく。
到達目標	小学校における「家庭」の授業を担当するために必要な実践的な知識・技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。特に、小学校学習指導要領解説家庭編に示されている内容の取扱いと指導上の配慮事項および実習の指導について具体例から学び、子どもたちが生活をよりよくしようと工夫する資質・能力をどのように育成するか理解する。
計画・内容	第1回 オリエンテーション、家庭科の目標と内容構成 第2回 空間軸・時間軸の視点からとらえる家庭科の学習対象 第3回 A「家族・家庭生活」の学習内容 ー自分の成長・家庭生活と家族の大切さー 第4回 B「衣食住の生活（食生活）」の学習内容 ー食事の役割ー 第5回 B「衣食住の生活（食生活）」の学習内容 ー調理の基礎・留意点と配慮点ー 第6回 B「衣食住の生活（食生活）」の実習 ーゆでる調理といためる調理ー 第7回 B「衣食住の生活（食生活）」の実習 ー米飯とみそ汁の調理ー 第8回 B「衣食住の生活（食生活）」の学習内容 ー栄養を考えた食事ー 第9回 B「衣食住の生活（衣生活）」の学習内容 ー衣服の着用と手入れー 第10回 B「衣食住の生活（衣生活）」の学習内容 ー布を用いた製作ー 第11回 B「衣食住の生活（衣生活）」の実習 ー手縫いの技能・ミシン縫いとの比較ー 第12回 B「衣食住の生活（衣生活）」の実習 ーミシン縫いの技能・留意点と配慮点ー 第13回 B「衣食住の生活（住生活）」の学習内容 ー健康・快適・安全な住まい方の工夫ー 第14回 C「消費生活・環境」の学習内容 ー持続可能な社会の構築に向けた消費生活と環境ー 第15回 A「家族・家庭生活」及びC「消費生活・環境」の学習内容 ー小・中学校の系統性ー

授業の進め方	講義（パワーポイントを使用）、演習、実習を行う。
能動的な学びの実施	アクティブラーニングを取り入れ、演習や実習を適宜行う。
授業時間外の学修	・授業前に予め教科書の該当部分や参考資料を読み、不明な点をまとめておくこと。（各回1～2時間） ・授業後に教科書や授業資料等をもとに自身の理解を確認し、習熟が必要な点をまとめたり、技能の練習をしたりすること。（各回2～3時間）
教科書・参考書	教科書 小学校学習指導要領解説家庭編，文部科学省，東洋館出版社，2018 参考書 小学校わたしたちの家庭科5・6，鳴海多恵子他，開隆堂出版，2024
成績評価方法と基準	積極的な授業参加 30%、調理および被服製作の技能 30%、課題論述レポート 40%
課題等に対するフィードバック	課題のフィードバックは、次回以降の授業でコメント・返却する。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	実習時の持ち物は各自用意すること。 被服製作実習：裁縫用具、布・糸等の製作物に必要な材料 調理実習：エプロン、三角巾、マスク、手拭き用タオル、食器用ふきん
非対面授業となった場合の「①授業の進め方」および「②成績評価方法と基準」	①Zoomによるオンライン授業と課題学修を組み合わせる。 ②実習については、家庭等で行って成果の画像等をレポートで報告することとし、レポートの内容で技能（30%）の評価に充てる。